

# 第11期のご報告

2021年4月1日～2022年3月31日



日新製糖株式会社

こころとからだに栄養を

# 愛情と信頼のマーク 「カップ印」のお砂糖



当社グループは つねにご満足いただける  
製品とサービスで  
多くの方々に笑顔をお届けできる  
「総合甘味サプライヤー」を  
目指しております。

## CONTENTS

株主の皆様へ	2
業績のご報告	3
事業セグメント別の概況	3
対処すべき課題	5
連結財務ハイライト	8
連結財務諸表	9
個別財務諸表	11
企業情報	13
サステナビリティ基本方針	14
株主還元について	15
株主メモ	裏表紙

## 経営理念

豊かで快適な生活の  
実現のため、  
『食』と『健康』で貢献する。

これを日新製糖グループの使命とし、「日々新たに」を  
モットーに、以下を基本として経営を行ってまいります。

- 公正で透明性の高い経営を実践することにより、社会から信頼される企業を目指します。
- 会社の業績向上を図ることにより、社会に貢献するとともに、従業員・お客様・株主様などの信頼と期待にお応えします。
- 健康に資する安全な製品・サービスを安定的に提供することにより、お客様の満足と安心を実現します。



代表取締役社長 COO 大久保 亮

代表取締役会長 CEO 樋口 洋一

株主の皆様には、平素より日新製糖グループに対して格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、創業以来、「豊かで快適な生活の実現のため、『食』と『健康』で貢献する。」を使命として、「日々新たに」をモットーに事業を行ってまいりました。

当社を取り巻く経営環境につきましては、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した地政学リスクの長期化を受け、各種商品市況の高止まりや金融市場への影響による景気の先行き不透明感が強まることで、世界経済は、コロナ禍前への回帰が期待されているものの、更なる危機拡大に見舞われ、その収束はいまだに不透明な状況です。主力の精製糖事業におきましては、国内砂糖消費量は漸減傾向が続き、更には原材料価格の高騰が続くことが予想される中で、非常に厳しい市場環境が見込まれ、こうした事業環境の変化に柔軟に対応することが不可欠となってきております。

このような状況のもと、当社は、2022年6月10日に伊藤忠製糖株式会社と経営統合に向けた、本格的な協議を開始することについて合意いたしました。本経営統合により、両社がこれまで培ってきた経営資源・ノウハウの集約・再配分を通じた一体的な活用を行い、業務体制・人的資源の最適化、生産拠点の効率化、物流網や原料・資材調達の集約等、効率的なグループ経営を推進・深化してまいります。また、独自性の高い新素材に関する研究開発や新商品開発を積極的に行い、「砂糖」とどまらない今後の成長分野や注力分野に取り組んでまいります。これらの取り組みを通じて事業ポートフォリオを強化し、強固な収益基盤を構築することで、「食」と「健康」の両面で豊かな生活の実現に貢献できる企業グループとして、急変する事業環境においても更なる成長と飛躍を目指してまいります。

今後とも、全てのステークホルダーの皆様のご信頼とご期待にお応えすべく、公正で透明性の高い事業運営を行うとともに、持続的な成長と企業価値の向上を目指して、グループ役員一同全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2022年6月  
代表取締役会長 CEO 樋口 洋一

## 業績のご報告

当社グループは、2020年3月期より国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。

当連結会計年度におけるわが国の経済につきましては、新型コロナウイルスの感染状況に応じて経済活動の制限と緩和が繰り返される中で、全国的に新型コロナワクチンの接種が進展したこと等を契機として持ち直しの動きがみられました。一方で、変異株による新型コロナウイルス再拡大およびロシアによるウクライナ侵攻に端を発した地政学リスクの急激な高まりを受け、各種商品市況の高止まりや金融市場への影響により景気が下振れするリスクも依然として抱えており、先行きは不透明な状況となっています。

当連結会計年度の業績は、新型コロナウイルス感染症対策を伴う新しい生活様式により社会・経済活動が行われた結果、国内砂糖消費の減少に歯止めがかかり、売上収益は46,062百万円(前期比5.2%増)となりました。一方で、原料調達コスト・エネルギーコスト等の上昇により、営業利益は2,164百万円(同1.9%減)、税引前利益は2,414百万円(同0.6%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益は1,715百万円(同51.4%増)となりました。なお、前期は健康産業事業において、税効果会計における回収可能性の見直し等を実施し、税負担率が増加しています。

## 事業セグメント別の概況

当社グループは、当社、子会社7社および関連会社5社により構成されております。

主要な事業内容は以下のとおりです。

### 砂糖その他食品事業

主に砂糖の製造および砂糖、甘味料の販売ならびに食用純金箔や可食フィルム等のその他の食品を製造・販売しています。

### 健康産業事業

主に総合フィットネスクラブ「ドゥ・スポーツプラザ」、「スポーツクラブエンターテインメントA-1」と女性専用のホットヨガ&コラーゲンスタジオ「BLEDA(ブレダ)」ならびにコンパクトジム「DO SMART(ドゥ・スマート)」、「A-1 EXPRESS」、「A-1 Light GYM24」を運営しています。

### 倉庫事業

主に冷蔵倉庫を保有し、保管・荷役・港湾運送業務を行っています。

## 砂糖その他食品事業

海外原糖市況につきましては、1ポンド当たり14.71セントで始まり、主要生産国であるブラジルの干ばつや降霜による供給面での不透明感の強まりにより、11月中旬には約4年9ヶ月ぶりの高値となる20.69セントまで値を上げました。その後は、タイ・インドでの増産予想等で上値が重い状況下、変異株による新型コロナウイルスの感染拡大懸念や原油をはじめとする国際商品市場から投機資金が流出したことから値を下げました。3月に入ると、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した地政学リスクの急激な高まりを受け、原油をはじめとした各種商品市況の高まりや資源国であるブラジルの通貨高などを背景に海外原糖市況は値を上げ、19.49セントで当期を終了しました。

一方、国内精糖市況(日本経済新聞掲載、東京)につきましては、上白糖1kg当たり192~193円で始まり、海外原糖市況の高騰を受け、8月初旬に6円、1月中旬にも6円と合計12円上昇し、204~205円で当期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、新しい生活様式の定着や緊急事態宣言の解除等により、製菓・製パン販売等が回復し、土産菓子、外食関係についても一部回復がみられたことにより、業務用製品が増加しました。また、当社独自製品の「きび砂糖。」や梅酒向け氷砂糖の出荷が好調に推移したこと等により、一部家庭用製品は増加しました。その結果、砂糖全体の出荷量は前期を上回りました。利益面においては、海外原糖市況の高騰を受けた原料調達コストの上昇をはじめ、エネルギーコストおよび物流コスト等の上昇により、前期を下回りました。

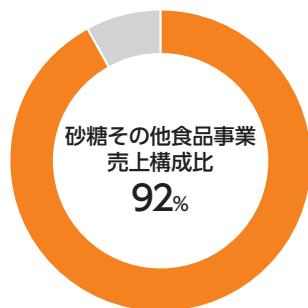
ツキオカフィルム製菓株式会社の売上収益につきましては、食用純金箔事業において百貨店・路面店等の一部業種における需要が回復しているものの、フィルム事業においてフィルム石けんの需要が一巡したこと等により、前期を下回りました。

以上の結果、砂糖その他食品事業合計の売上収益は42,172百万円(前期比4.6%増)、セグメント利益は1,976百万円(同32.3%減)となりました。

### 海外原糖市況(ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限))

日付	セント/ポンド	円/kg	為替(円/ドル)
始値2021年4月1日	14.71	36.27	111.84
高値2021年11月18日	20.69	52.54	115.18
安値2021年4月1日	14.68	36.20	111.84
終値2022年3月31日	19.49	53.02	123.39

(注) 1ポンドは約0.4536kgとして換算し、為替は当日の三菱UFJ銀行直物為替公表TTSによっています。



## ツキオカフィルム製菓株式会社

フィルム事業についてご紹介します。

### ○可食フィルム

デンプンやゼラチンなどの食品素材をベースとした口腔内で素早く溶けるフィルム状食品です。

<使用用途>



口中清涼剤・サプリメント



可食印刷フィルム



食品包装フィルム



### ○化粧フィルム



フィルム石けん



歯磨きフィルム

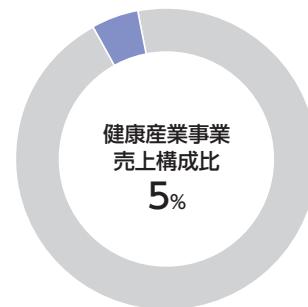
### ○フィルム製剤

- 「水なし」での服用が可能なたため、災害時など水が無い環境下でもお薬を服用できます。
- 固形剤や水を飲むことが難しい嚥下困難な方、寝たきりの方でも服用が可能です。



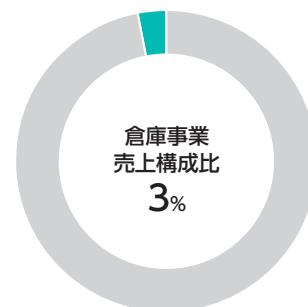
## 健康産業事業

健康産業事業につきましては、総合フィットネスクラブ7店舗、女性専用のホットヨガ&コラーゲンスタジオ5店舗およびコンパクトジム18店舗を関東地方において運営しています。会員数は前期よりも増加しましたが、回復基調は鈍く、度重なる緊急事態宣言の延長やまん延防止等重点措置により一部店舗で休業や時短営業を実施した影響から、依然として厳しい状況が続いています。このような状況のもと、引き続き感染防止策を徹底し、新しい生活様式に沿った効率的な事業運営を行ったことや休業や時短営業等の対象店舗・期間が限定的になり営業日数が増加したこと、月会費を値上げしたこと等によって売上収益は2,317百万円(前期比15.4%増)、セグメント損失は71百万円(前期はセグメント損失972百万円)となりました。



## 倉庫事業

倉庫事業につきましては、港湾運送において輸入建材の取扱量が増加したことにより売上収益は1,571百万円(前期比9.7%増)、セグメント利益は259百万円(同0.2%増)となりました。



## 対処すべき課題

当社を取り巻く経営環境につきましては、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した地政学リスクの長期化を受け、各種商品市況の高止まりや金融市場への影響による景気の先行き不透明感が強まることで、世界経済は、コロナ禍前への回帰を期待するものの、更なる危機拡大に見舞われ、その収束はいまだに不透明な状況です。2022年度も、新型コロナウイルスの影響のみならず、地政学リスクに起因する広範囲での不確実性の高まりにより、先行きを見通すことが大変難しい状況にあります。

このような状況で、まずは全社員一丸となって、各事業のセグメントにおいて、従来以上に採算性を重視した効率的なオペレーションと更なるコスト削減を進めることで、業績の早期回復に努めてまいります。そして、事業環境の変化を適切に捉え、ガバナンス体制の強化、既存事業の成長、事業領域の拡大に向けた取り組みを着実に進め、プライム市場の上場会社として、更なる企業価値向上に努めてまいります。

精製糖事業におきましては、国内砂糖消費量は漸減傾向が続き、2022年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける可能性が想定され、消費の落ち込みは避けられず、更には、原材料価格の高騰が続くことが予想されることで、

非常に厳しい市場環境が見込まれます。こうした状況のもと、当社は、生活必需品である砂糖を消費者の皆様へ安定供給し、社会的責任を果たすことを最優先として取り組んでまいります。その上で、生産から販売までの最適化の検討と「きび砂糖<sup>®</sup>」など高付加価値品の推進を軸とした商品力・販売力の強化に努めて業績の回復・向上を目指します。加えて、業界再編の動きが更に加速していくことが予想される中、この動きに適切に対応するため、同事業における経営効率・経営品質の向上に努めてまいります。

その他食品事業におきましては、子会社のツキオカフィルム製菓株式会社において、引き続き新型コロナウイルス感染症による消費減退の影響を受けましたが、箔押し事業、食用純金箔事業、フィルム事業それぞれにおいて新規顧客の獲得に努め、フィルム事業では新たな用途開発により、業績の回復・向上に努めてまいります。また、当社の機能性商材としてオーラルケア分野で期待の持てるサイクロデキストラン(CI)に加え、腸内環境改善に資するカップオリゴの取り組みも更に前進させてまいります。

健康産業事業におきましては、コロナ禍による営業の自粛要請やまん延防止等重点措置等による人流抑制下に、各店舗運営でのDX化の推進と適切な運営体制に見直すことで、採算性・効率性の向上を図り、収益力改善と下方耐性強化に努めてまいりました。今後も継続して感染防止策を徹底し、お客様の健康維持増進に貢献し、安全・安心なサービスを提供すると共に、新常態における店舗運営体制を構築し、早期の業績回復を目指してまいります。

倉庫事業におきましては、既存取引先との安定した取引を継続、今後も物流需要に的確に応え、新規取引先の開拓を進め、適正な在庫水準の維持、稼働率の向上を目指してまいります。

経営基盤の強化の一つとして取り組んできたCSR経営の推進について、ESGを含むサステナビリティが重要な経営課題との意識が高まる中で、より積極的かつ能動的な対応を一層推進させるためにサステナビリティ推進委員会を新設しました。今後も、社員が会社とともに成長する風土と体制づくりを深化させ、人材育成、業務の効率化、生産性向上、リスク管理、サステナビリティ推進の各分野の強化に注力してまいります。

## 【当社と伊藤忠製糖株式会社の経営統合に関する基本合意書の締結について】

当社と伊藤忠製糖株式会社(以下「伊藤忠製糖」といいます。 )との経営統合に向けた基本合意書の締結につきまして、2022年6月10日に公表いたしました。

我が国の砂糖産業を取り巻く環境においては、人口減少、低甘味・低カロリー嗜好による砂糖代替品の台頭、他国との経済連携協定等による競争の激化、近年の原料価格高騰等、不透明かつ厳しさが増す事業環境となっており、事業環境の変化への柔軟な対応、事業基盤の更なる強化と経営の効率化は喫緊の課題となっています。

こうした事業環境の中で、本経営統合を通じて、砂糖の安定的な供給体制をより一層盤石なものとする中で、事業ポートフォリオを強化し、強固な収益基盤を構築することによって、「食」と「健康」で豊かな生活の実現に貢献できる企業グループとして、持続的な成長と企業価値の向上を目指すことを目的として、今般、伊藤忠製糖と経営統合に向けて本格的な協議をすることについて合意いたしました。

現時点で想定している本経営統合の形態は、当社を完全親会社とする株式交換により伊藤忠製糖を完全子会社化し、同時に当社日新製糖は会社分割により、新設子会社に対して事業の継承を行い、純粋な持株会社となります。なお、今後の協議の進展に伴い、本経営統合の形態は変更される可能性がございます。

また、本持株会社は、東証プライム市場での上場を継続いたします。

本経営統合に関する最終契約締結は、本年9月上旬を目途とし、その効力発生日は、2023年1月1日を予定しております。

## 2022年3月期決算のポイント

- ◆ 精製糖事業は、販売数量が増加したものの、原料調達コスト等の上昇により**増収減益**
- ◆ 健康産業事業は、新しい生活様式に沿った効率的な事業運営により**増収増益**

砂糖その他食品事業		健康産業事業	
精製糖事業	<b>増収</b>	日新ウエルネス <b>増収増益</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい生活様式に沿った効率的な事業運営を行ったことや、前期より営業日数が増加したこと、月会費を値上げしたこと等によって増収増益</li> <li>会員数は前期より増加したが、回復基調は鈍く、依然として厳しい状況が続いている</li> <li>前年に減損損失346百万円計上</li> </ul>
	<b>減益</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>海外原糖市況の高騰を受けた原料調達コストの上昇をはじめ、エネルギーコストおよび物流コスト等の上昇により減益</li> </ul>
その他食品事業	<b>ツキオカフィルム製薬 減収減益</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>食用純金箔事業において百貨店・路面店等の一部業種の需要が回復</li> <li>フィルム事業においてフィルム石けんの需要が一巡したことにより減益</li> </ul>	倉庫事業	<b>ニューポート産業 増収増益</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>港湾運送において輸入建材の取扱量が増加したことにより増収増益</li> </ul>

## 2023年3月期見通しのポイント

- ・ 国内の経済活動が徐々に改善するものの、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は続くものとする
- ・ ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した地政学リスクが急激に高まる中、原料調達コスト、エネルギーコスト等の上昇により厳しい状況を見込む

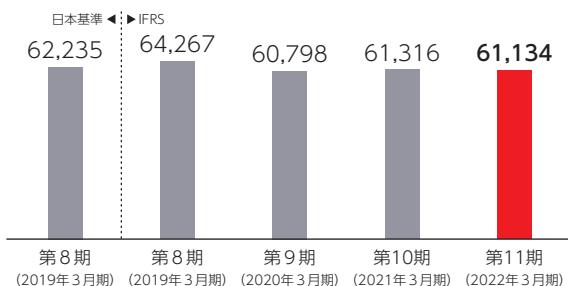
砂糖その他食品事業		健康産業事業	
精製糖事業	<b>1. 売上収益は回復するが、コロナ禍以前までには至らず</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光・外食向け需要の回復に伴う業務用製品の改善</li> <li>「きび砂糖<sup>®</sup>」の販売増加</li> </ul>	日新ウエルネス	<b>1. 会員数の回復</b> 新型コロナウイルス感染症の影響からの段階的な会員数の回復
	<b>2. 原料調達コスト等によるコスト増が影響大</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>原糖調達コスト、エネルギーコスト、物流コスト等の上昇により利益減</li> </ul>		<b>2. コロナ収束後の新常态を見据えた店舗運営体制の構築</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>FIA(日本フィットネス産業協会)水準を上回る感染防止策徹底</li> <li>IT化によるコスト削減加速</li> <li>新常态に対応した新たなサービス・運営体制の構築 → 早期の業績回復を目指す</li> </ul>
その他食品事業	<b>ツキオカフィルム製薬</b> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>売上収益の回復</b> 新型コロナウイルス感染症の影響からの段階的な回復、フィルム事業における既存市場の更なる深耕と販売拡大による売上増</li> <li><b>金地金相場高騰</b> 原料費の上昇による食用純金箔事業の利益率低下</li> </ol>	倉庫事業	<b>ニューポート産業</b> 冷蔵倉庫・港湾運送ともに在庫水準の維持、稼働率の向上に努める



# 連結財務ハイライト (注) 科目等の表記が日本基準とIFRSとで異なる場合は、両方を併記しています。

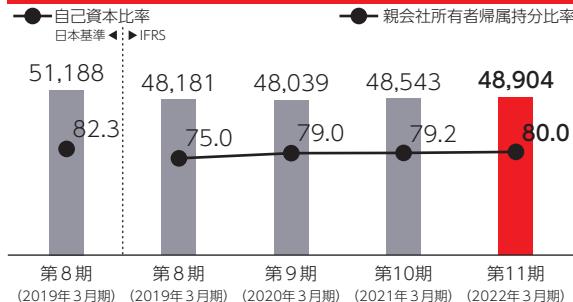
## 総資産／ 資産合計

(単位：百万円)



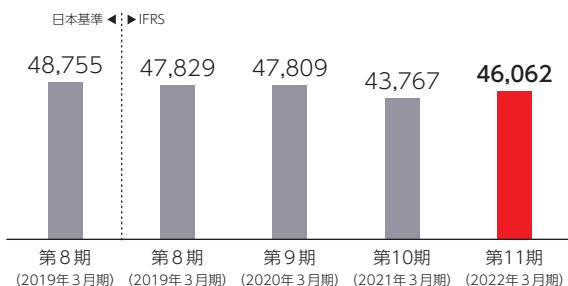
## 純資産 (自己資本比率)／ 資本合計 (親会社所有者帰属持分比率)

(単位：百万円/%)



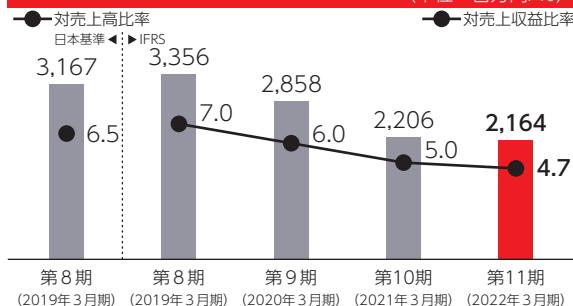
## 売上高／ 売上収益

(単位：百万円)



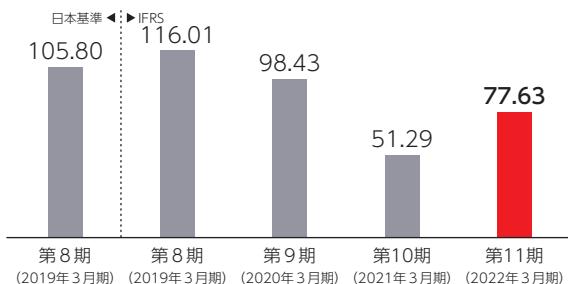
## 営業利益 (対売上高比率)／ 営業利益 (対売上収益比率)

(単位：百万円/%)



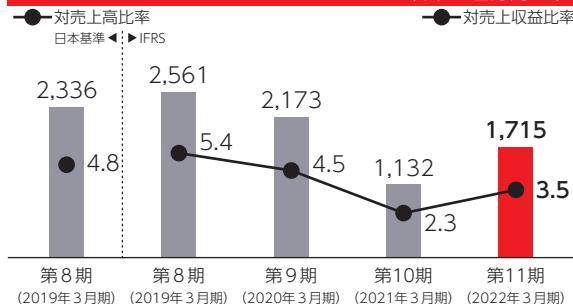
## 1株当たり当期純利益／ 基本的1株当たり当期利益

(単位：円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益 (対売上高比率)／ 親会社の所有者に帰属する当期利益 (対売上収益比率)

(単位：百万円/%)



# 連結財務諸表

## 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	当 期 (2022年3月31日現在)	前 期 (2021年3月31日現在)
<b>(資産)</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び現金同等物	7,649	8,524
営業債権及びその他の債権	4,827	4,510
その他の金融資産	6,140	6,195
棚卸資産	6,204	6,062
その他の流動資産	255	260
<b>流動資産合計</b>	<b>25,078</b>	<b>25,553</b>
<b>非流動資産</b>		
有形固定資産	11,238	11,432
使用権資産	2,787	2,512
のれん	2,515	2,515
無形資産	311	323
持分法で会計処理されている投資	11,925	11,728
その他の金融資産	5,960	5,869
退職給付に係る資産	670	710
繰延税金資産	142	168
営業債権及びその他の債権	5	2
その他の非流動資産	498	498
<b>非流動資産合計</b>	<b>36,056</b>	<b>35,763</b>
<b>資産合計</b>	<b>61,134</b>	<b>61,316</b>

科目	当 期 (2022年3月31日現在)	前 期 (2021年3月31日現在)
<b>(負債及び資本)</b>		
<b>負債</b>		
<b>流動負債</b>		
借入金	1,300	1,300
営業債務及びその他の債務	3,028	3,571
リース負債	944	967
その他の金融負債	32	31
未払法人所得税等	403	293
その他の流動負債	1,889	1,991
<b>流動負債合計</b>	<b>7,597</b>	<b>8,156</b>
<b>非流動負債</b>		
営業債務及びその他の債務	0	0
リース負債	2,908	2,880
その他の金融負債	108	113
退職給付に係る負債	262	307
引当金	419	413
繰延税金負債	896	863
その他の非流動負債	35	37
<b>非流動負債合計</b>	<b>4,632</b>	<b>4,615</b>
<b>負債合計</b>	<b>12,230</b>	<b>12,772</b>
<b>資本</b>		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	11,614	11,603
自己株式	△292	△296
その他の資本の構成要素	1,488	1,405
利益剰余金	29,093	28,830
<b>親会社の所有者に帰属する持分合計</b>	<b>48,904</b>	<b>48,543</b>
<b>資本合計</b>	<b>48,904</b>	<b>48,543</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>61,134</b>	<b>61,316</b>

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。  
2. 1株当たり親会社所有者帰属持分 2.213円29銭



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)	(2020年4月 1日から 2021年3月31日まで)
売上収益	46,062	43,767
売上原価	37,854	35,021
売上総利益	8,207	8,746
販売費及び一般管理費	6,168	6,227
その他の収益	166	76
その他の費用	41	389
営業利益	2,164	2,206
金融収益	89	89
金融費用	58	72
持分法による投資利益	219	206
税引前利益	2,414	2,430
法人所得税費用	699	1,297
当期利益	1,715	1,132
当期利益の帰属		
親会社の所有者	1,715	1,132
非支配持分	—	—
当期利益	1,715	1,132

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。  
2. 基本的1株当たり当期利益 77円63銭

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)	(2020年4月 1日から 2021年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,178	3,319
投資活動によるキャッシュ・フロー	△651	△482
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,402	△2,398
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△875	439
現金及び現金同等物の期首残高	8,524	8,085
現金及び現金同等物の期末残高	7,649	8,524

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結持分変動計算書

当期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分										
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計	利益剰余金	合計	合計
				キャッシュ・ フロー・ヘッジ	その他の 包括利益を通じて 公正価値で測定 する金融資産	確定給付制 度の再測定					
2021年4月1日時点の残高	7,000	11,603	△296	3	1,401	—	1,405	28,830	48,543	48,543	
当期利益	—	—	—	—	—	—	—	1,715	1,715	1,715	
その他の包括利益	—	—	—	127	50	6	184	—	184	184	
当期包括利益合計	—	—	—	127	50	6	184	1,715	1,899	1,899	
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—	—	△0	△0	
配当金	—	—	—	—	—	—	—	△1,458	△1,458	△1,458	
株式報酬取引	—	10	4	—	—	—	—	—	15	15	
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	—	0	△6	△5	5	—	—	
非金融資産への振替	—	—	—	△95	—	—	△95	—	△95	△95	
所有者との取引額合計	—	10	4	△95	0	△6	△101	△1,452	△1,538	△1,538	
2022年3月31日時点の残高	7,000	11,614	△292	35	1,453	—	1,488	29,093	48,904	48,904	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 個別財務諸表

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2022年3月31日現在)	前 期 (2021年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	22,771	23,318
現金及び預金	8,160	9,027
売掛金	3,623	3,509
有価証券	4,600	4,700
商品及び製品	3,390	2,988
仕掛品	637	459
原材料及び貯蔵品	1,928	2,362
前払費用	110	107
関係会社短期貸付金	103	100
その他	218	62
固定資産	33,945	34,158
有形固定資産	12,158	12,350
建物	2,299	2,371
構築物	119	118
機械及び装置	1,612	1,712
車両運搬具	4	7
工具器具備品	165	162
土地	7,809	7,809
リース資産	36	56
建設仮勘定	110	112
無形固定資産	489	555
ソフトウェア	127	154
のれん	338	383
その他	24	18
投資その他の資産	21,297	21,252
投資有価証券	3,323	3,373
関係会社株式	13,143	13,474
関係会社長期貸付金	3,721	3,514
前払年金費用	810	607
その他	308	293
貸倒引当金	△9	△9
<b>資産合計</b>	<b>56,717</b>	<b>57,477</b>

科 目	当 期 (2022年3月31日現在)	前 期 (2021年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	5,390	5,987
買掛金	2,098	2,764
短期借入金	1,642	1,588
リース債務	14	15
未払金	126	169
未払費用	849	847
未払法人税等	360	228
賞与引当金	255	265
その他	44	107
固定負債	2,183	2,124
リース債務	14	29
繰延税金負債	771	689
資産除去債務	206	202
再評価に係る繰延税金負債	1,077	1,077
その他	112	125
<b>負債合計</b>	<b>7,573</b>	<b>8,111</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	45,957	46,172
<b>資本金</b>	<b>7,000</b>	<b>7,000</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>24,336</b>	<b>24,329</b>
資本準備金	1,750	1,750
その他資本剰余金	22,586	22,579
<b>利益剰余金</b>	<b>14,913</b>	<b>15,139</b>
その他利益剰余金	14,913	15,139
繰越利益剰余金	14,913	15,139
自己株式	△292	△296
評価・換算差額等	3,186	3,193
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>959</b>	<b>997</b>
繰延ヘッジ損益	35	3
土地再評価差額金	2,191	2,191
<b>純資産合計</b>	<b>49,143</b>	<b>49,365</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>56,717</b>	<b>57,477</b>

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。  
2. 1株当たり純資産額 2,224円12銭



## 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)	(2020年4月 1日から 2021年3月31日まで)
売上高	39,439	39,825
売上原価	32,116	29,988
売上総利益	7,322	9,836
販売費及び一般管理費	5,226	6,880
営業利益	2,096	2,955
営業外収益	194	199
受取利息	35	32
受取配当金	146	135
その他	12	32
営業外費用	24	24
支払利息	11	11
支払手数料	11	11
その他	1	0
経常利益	2,266	3,131
特別利益	1	28
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	1	27
特別損失	348	787
固定資産除却損	12	23
関係会社株式評価損	336	763
税引前当期純利益	1,918	2,373
法人税、住民税及び事業税	602	600
法人税等調整額	84	75
当期純利益	1,232	1,697

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

2. 1株当たり当期純利益 55円78銭

## 【ご参考】個別業績（日本基準）に関して

個別業績における財務数値につきましては、日本基準を適用しています。

連結子会社のツキオカフィルム製薬(株)は、砂糖その他食品事業を営んでおり、同事業は新型コロナウイルス感染症による影響を受けています。その結果、投資について実質価額に著しい低下が認められ、かつ十分な回復可能性がないと判断したことから、相当の減額を行い、関係会社株式評価損336百万円を特別損失に計上しています。

なお、前期は、連結子会社の(株)日新ウエルネスが新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて業績が悪化したことに伴い、関係会社株式評価損763百万円を計上しています。

## 株主資本等変動計算書

当期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産 合計
	資本金	資本剰余金			自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計								
当期首残高	7,000	1,750	22,579	24,329	15,139	△296	46,172	997	3	2,191	3,193	49,365
当期変動額												
剰余金の配当	—	—	—	—	△1,458	—	△1,458	—	—	—	—	△1,458
当期純利益	—	—	—	—	1,232	—	1,232	—	—	—	—	1,232
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△0	△0	—	—	—	—	△0
株式報酬取引	—	—	6	6	—	4	11	—	—	—	—	11
株主資本以外の項目の 当中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—	△38	31	—	△7	△7
当期変動額合計	—	—	6	6	△225	4	△214	△38	31	—	△7	△221
当期末残高	7,000	1,750	22,586	24,336	14,913	△292	45,957	959	35	2,191	3,186	49,143

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 企業情報 (2022年3月31日現在)

## 会社概要

商号	日新製糖株式会社 (Nissin Sugar Co., Ltd.)		
本店所在地	東京都中央区日本橋小網町14番1号		
設立	2011年10月3日		
資本金	70億円		
事業内容	砂糖その他食品の製造販売		
役員	代表取締役会長	樋口洋一	
(2022年6月28日現在)	代表取締役社長	大久保亮	
	取締役執行役員	三枝恵	
	取締役	飯塚佳都子	
	取締役	池原元勝	
	取締役	南勝之	
	常勤監査役	川口多津雄	
	監査役	延増拓郎	
	監査役	和田正夫	
	(取締役兼任者を除く執行役員は以下のとおりです。)		
	専務執行役員	森永剛司	
	専務執行役員	飯塚裕之	
	常務執行役員	砂坂静則	
	常務執行役員	柴田弥	
	常務執行役員	山口康雄	
	執行役員	佐々木洋治	
	執行役員	中村泰之	
	執行役員	飯倉聡	
	執行役員	小川人嗣	
	執行役員	大場健司	

(注) 取締役飯塚佳都子氏、取締役池原元宏氏および取締役南勝之氏は社外取締役、また監査役延増拓郎氏および監査役和田正夫氏は社外監査役です。

## グループ会社

会社名	主要な事業内容
<b>子会社</b>	
新豊食品株式会社	砂糖等の加工および包装
ツキオカフィルム製薬株式会社	箔押事業・食用純金箔事業 およびフィルム事業
日新サービス株式会社	合成樹脂等の販売
株式会社日新ウエルネス	フィットネススクラブの運営
ニューポート産業株式会社	冷蔵倉庫・港湾運送業
他	他
<b>関連会社</b>	
新東日本製糖株式会社	精製糖等の製造
新光糖業株式会社	国産分蜜糖の製造、販売
新中糖産業株式会社	不動産賃貸業
他	他

## 株式の状況

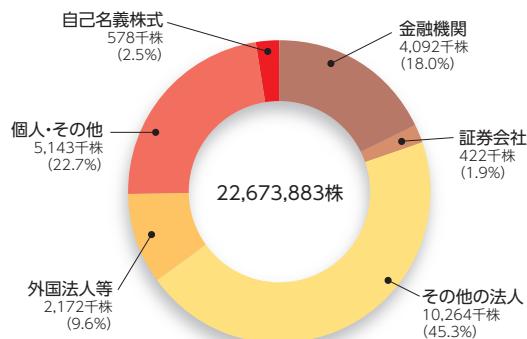
発行可能株式総数 90,000,000株  
 発行済株式の総数 22,673,883株 (自己株式578,113株を含む)  
 株主数 14,976名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友商事株式会社	8,296	37.5
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,161	5.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,148	5.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	938	4.2
株式会社三井住友銀行	739	3.3
三井住友信託銀行株式会社	600	2.7
ブルドックソース株式会社	399	1.8
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	310	1.4
むさし証券株式会社	306	1.4
平野 孝憲	283	1.3

(注) 1. 当社は、自己株式を578,113株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## サステナビリティ基本方針

当社グループは、当社グループの経営理念である「豊かで快適な生活の実現のため、『食』と『健康』で貢献する。」を実現するために、「様々なステークホルダーとの信頼関係のもとに、事業活動を通じて、持続可能な社会の発展に貢献していく」ことを行動規範の中核におき、中長期的な企業価値の向上に努めるとともに、法令および企業倫理を遵守し、社会の一員として、従業員・取引先・消費者・地域社会への貢献、地球環境への配慮等の社会的責任を果たし、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティの推進は、経営品質の向上に繋がるとの考えのもと、国連SDGs(持続可能な開発のための目標)の目標年度である2030年度における当社の「ありたい姿」を、以下の6つの重点領域として定め、重点領域を支える「事業活動の基盤」分野も含め、ESG観点を意識した中長期目標を設定し、社会の持続可能な発展と自社の成長を両立させべく、サステナビリティ推進委員会を中心に全社的に取り組んでまいります。

**1** 食と健康を通じた  
楽しいライフスタイルの提案





**2** 環境に配慮した  
事業プロセスの追求




**3** 責任ある  
原材料調達の実現



**4** 安全・安心で高品質な  
製品・サービスの提供




**5** 多様な人々が活躍できる  
職場環境の推進




**6** 地域社会との共生




### 事業活動の基盤 コーポレートガバナンス・コンプライアンス・リスクマネジメント

また、投資家とのサステナビリティに関する建設的な対話を推進する観点から、サステナビリティに関する開示を行ってまいります。特に、気候変動に係るリスクおよび収益機会が当社グループの事業活動や収益等に与える影響について、必要なデータの収集と分析を行い、国際的に確立された開示の枠組みであるTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)またはそれと同等の枠組みに基づく開示をしてまいります。

# 株主還元について

## 2022年3月期の期末配当について

当社は、「資本政策の基本的な方針」において、中長期的に親会社所有者帰属持分当期利益率（ROE）向上を図り、成長投資と株主還元の充実を両立させることとしております。利益配分につきましては、連結配当性向（DPR）60%、または親会社所有者帰属持分当り配当率（DOE）3%のいずれか大きい額を基準に配当を行います。

上記方針を本決算数値に適用し算定した結果、前回予想（2022年2月8日公表）よりも業績が上向き、親会社の所有者に帰属する当期利益および親会社の所有者に帰属する持分の増加によって、年間配当金額につきましては、前回予想の66円から1円増額の1株当たり67円といたします。

これにより、1株当たり期末配当金額につきましては、1株当たり年間配当金額67円から1株当たり中間配当金額33円を差し引いた34円といたします。

### [1 株当たり年間配当金額の算定式]

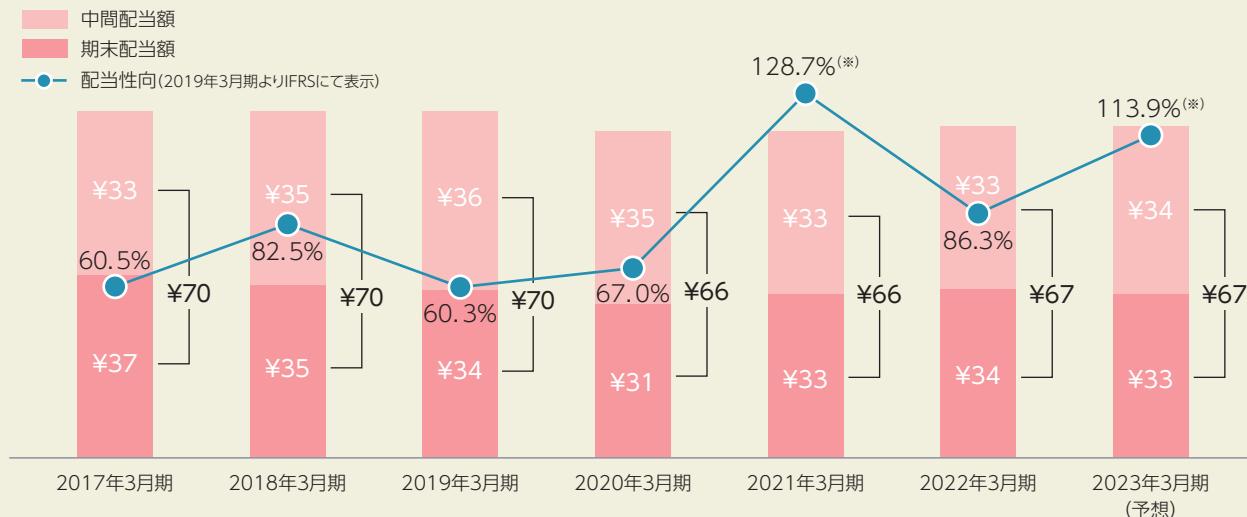
連結配当性向（DPR）60%基準

期末基本的1株当たり連結当期利益77.62円の60% = **47円**（1円未満切上げ）

親会社所有者帰属持分当り配当率（DOE）3%基準

期末1株当たり親会社所有者帰属持分2,213.29円の3% = **67円**（1円未満切上げ）

親会社所有者帰属持分当り配当率（DOE）3%基準67円の方が大きいため、**67円**を1株当たり年間配当金額といたします。



(※) 1株当たり配当金額が基本的1株当たり当期利益を上回ったことにより、配当性向が100%を超過  
 【当期利益減少の主な要因】 ●2021年3月期：新型コロナウイルス感染拡大  
 ●2023年3月期（予想）：原料・エネルギー・資材包材・物流コスト上昇



## 株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆様の日頃のご支援を感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主の皆様へ当社株式を長期的に保有していただくため、株主優待制度を実施しております。

### 対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株(1単位)以上の株式を保有されている株主様

### 株主優待制度の内容

保有期間	3年未満	3年以上
優待内容	1,000円相当の自社製品	2,000円相当の自社製品

※保有期間について

- (注) 1. 「保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在において、当社の株主名簿に同一株主番号で3年以上継続して記載または記録されている株主様(同一の株主番号で100株以上を、3月31日現在、9月30日現在の株主名簿に、7回以上継続して記載または記録されている株主様)といたします。
2. 相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その期末の基準日(3月31日)から起算いたします。



オリゴの王様®



白砂糖  
スタンドパック400g



フロスト®シュガー  
スタンドパック300g



氷砂糖  
クリスタル200g



ヨーグルト用の  
お砂糖×2袋



グラニュー糖500g



三温糖 1kg

2022年3月期の株主優待品(予定)

※上段3種類が1,000円相当、2,000円相当は上段3種類に下段4種類を追加。

### 贈呈時期

6月の定時株主総会開催後、7月上旬にかけての発送を予定しております。

7月中旬を過ぎてもお受け取りになられていない株主様は下記あてにご連絡くださいますようお願いいたします。

日新製糖株式会社株主優待事務局

(フリーダイヤル) **0120-051-558**

受付時間 平日9:00-17:00(土日祝日を除く)

受付期間 2022年8月31日(水)まで(以降は03-3668-1246 日新製糖(株)総務部)

株主優待制度の詳細につきましては、当社ホームページ「IR情報」をご覧ください。

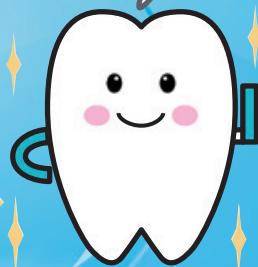
新素材 オーラルケアができる環状オリゴ糖

# サイクロデキストラン (CI)

CIの  
3つの  
特徴

- 1 砂糖から作ったオーラルケア素材
- 2 糖存在下でのプラーク形成抑制効果
- 3 食品素材なので安全・安心

化粧品素材としても  
ご利用いただけるように  
なりました



だから、いつもの食事にプラスでオーラルケア  
このオリゴ糖は、お口で働く！

※この素材は業務用です。

 株式会社日新ウエルネス

## ライブレッスン4月より総合型店舗全店で展開中!!



※ライブレッスン:1つの店舗で実施している  
レッスンを同時刻に他の店舗(スタジオ)に配  
信します。これにより、人気インストラクター  
の指導をその店舗に行かなくても受けられる  
ようになりました。



店舗により実施回数が異なります。詳しくは各店舗のプログラムスケジュールをご確認ください。また、参加方法は各店舗にお問い合わせください。

実施店舗 .....

 ドゥースポーツラボ 豊洲・南砂町・上里・高崎・羽生

※随時対応店舗増予定です

スポーツクラブ  A-1 笹塚・町田  
エンターテインメント

# とうもろこしそうめんチャンプルー

とうもろこしの甘みをきび砂糖<sup>®</sup>が引き立てた、ボリュームたっぷりのチャンプルー。



## Point

そうめんは表示時間より30秒ほど短くゆで、固ゆでの状態で湯がくように炒めると口当たりが良くなる。



## 材料 (作りやすい量)

とうもろこし……………	1本	胡麻油……………	小さじ1
豚こま……………	150g	黒こしょう……………	少々
玉ねぎ……………	1/4個	塩……………	少々
にんじん……………	60g	〈A〉	
ニラ……………	1/4束	酒……………	大さじ2
そうめん……………	3束	しょうゆ……………	大さじ1
サラダ油……………	大さじ1	きび砂糖 <sup>®</sup> ……………	小さじ1

## 作り方

- ① とうもろこしは実を包丁ではずす。ほぐしておく。
- ② 玉ねぎ薄切り、にんじん5cm長さ細切り、ニラは5cm長さに切る。
- ③ そうめんは表示時間より少し短くゆでる。冷水でもみ洗いしてしめてざるにあげ水けをきる。
- ④ フライパンに油をいれ中火で豚肉を炒め火が通ったら玉ねぎ、にんじん、とうもろこしをいれ、塩をふって炒め合わせる。
- ⑤ ③、〈A〉を加え炒め合わせニラを加えさっと炒めて器に盛る。黒こしょうをふる。



## きび砂糖<sup>®</sup>の特長

大自然の恵みをいっぱいに浴びて育ったさとうきびの風味が活きた、まろやかな甘さのきび砂糖<sup>®</sup>。他のお砂糖にはない独特のコクのあるおいしさが味わえます。

内容量：750g / 希望小売価格：426円（税込）お求めはスーパー、小売店等にて。

この商品は公式ネットショップでご購入いただけます

## 四季<sup>フクウマ</sup>のきび砂糖レシビ

予約のとれない店として評判の和食店「賛否両論」店主の笠原 将弘さんとタイアップ!

笠原将弘さんのレシピはこちら

[コクうまレシビ](#)

[検索](#)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル) (受付時間 土・日・祝日・年末年始を除く9:00~17:00)
(ホームページ)	<a href="https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/</a>

### 【株式に関する手続きおよびご照会について】

住所等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、その他の手続きおよびご照会は、下記の各該当先をお願いいたします。

証券会社等の口座に記録された株式…口座を開設されている証券会社等  
特別口座に記録された株式……………三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

### 【特別口座および口座振替について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された「特別口座」に記録されています。  
特別口座では、単元株の売買ができないなどお取引に一定の制限があります。円滑なお取引を行うためにも、特別口座から証券会社等に開設された株主様の口座に株式を振替えること(=口座振替)をおすすめします。  
お手続きの詳細につきましては、三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

### 【未払配当金のお支払について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

表紙 松成 真理子 (イラストレーター・絵本作家)

子供の本を中心に幅広い分野で活躍している。「まいごのどんぐり」(童心社)で児童文芸新人賞受賞。その他絵本に『せいちゃん』(ひさかたチャイルド)、『じいじのさくら山』(白泉社)、『たなばたまつり』(講談社)、『雨二モマクス』(あすなる書房)など多数。



# 日新製糖株式会社

〒103-8536 東京都中央区日本橋小網町14-1  
☎ 03-3668-1246 (総務部)  
ホームページアドレス <https://www.nissin-sugar.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。